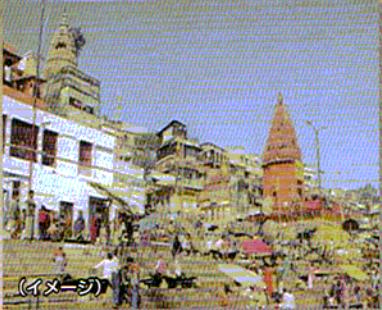


はるか太古より壮大な歴史を紡ぐ、幻想の国インド。伝説の王都デリー、ムガール朝時代の古都アグラなど多くの世界遺産を擁する神秘の地をじっくりご案内いたします。

インドが誇る 世界遺産と仏跡を巡る



マトゥラー考古学博物館

マトゥラーといふと、ヒンドゥー教7大聖地のひとつに数えられる街。ヴィシヌ神の化身のクリシュナが誕生したことで有名です。今



(イメージ)

はヒンドゥー教の聖地ですが、仏像に代表されるマトゥラー芸術でも有名な傑作が見られる考古学博物館は必見です。



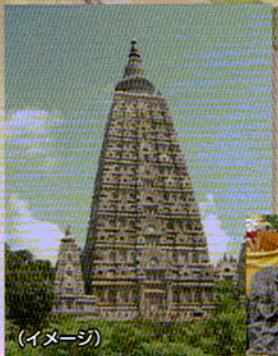
(イメージ)

ラージギル

山に囲まれた小さな町。ブッダが修行し説法をした地で町の随所に伝説的な遺跡が残されています。



(イメージ)



マハボディー寺院

ブッダが悟りを開いた場所に建てられた寺院。内部では金箔張りの豪華な仏像が祭られていて、壁面にはブッダに関するさまざまな物語が刻まれています。ブッダガヤは、ブッダが苦行と深い瞑想の末に悟りを開いた場所として、仏教の八大聖場の中でも重要な聖地とされています。



(イメージ)

パトナ博物館

ビハール州の州立博物館。マウリヤ朝やグプタ朝時代に作られた仏像などが数多く展示されている。

パトナは、かつてバータリブトラとよばれた紀元前5世紀ごろのマガダ国の首都で今は仏跡巡りの中継地点となっています。



インドへ行くなら、便利なエアインディア。伝統と革新の国インドのフラッグキャリア。サリーをまとったフレイトアテンダントが笑顔で迎えてくれます。

